

2025年2月3日

月島JFEアクアソリューション株式会社

いわき市下水汚泥等利活用事業 運営開始に関するお知らせ

月島JFEアクアソリューション株式会社（以下、「TJAS」、社長：鷹取 啓太）を代表企業とする企業グループ（以下「本グループ」）は、いわき市（市長：内田 広之）と「いわき市下水汚泥等利活用事業（*添付参照）」（以下「本事業」）に係る契約に基づいて施設を建設し、事業を開始しましたのでお知らせいたします。

いわき市では、公共下水道から発生する下水汚泥を中部浄化センターに集約後、全量焼却し建設資材として有効利用を図っておりましたが、本事業では焼却処分していた下水汚泥を再生可能エネルギーとして活用するため、嫌気性消化およびバイオガス発電、固形燃料化施設を整備し、固形燃料化物を燃料利用することで温室効果ガスの削減を目指すことを目的としております。併せて、現在し尿処理場で処理しているし尿・浄化槽汚泥や他バイオマスを下処理場で共同処理し、効率的な生活排水処理体制を構築します。事業方式は、ライフサイクルコストの最適化による事業費削減効果および長期間の有効利用先の確保を目的に、PFI手法を活用し、実施します。

本グループは、2020年10月に基本協定、同年12月に事業契約を締結後、施設の設計・建設に着手し、2025年2月より運営を開始しました。今後は、2045年1月までの20年間にわたり維持管理・運営、固形燃料化物の買取、ならびにその他付帯事業の運営を行います。

TJASは、下水処理場における下水汚泥処理に強みを持ち、嫌気性消化施設、固形燃料化施設、バイオガス発電設備、固定価格買取制度（FIT）を活用した発電事業など豊富な実績を有します。今後もバイオマス資源である下水汚泥の有効利用を推進することで、地球温暖化防止と循環型社会の構築に貢献してまいります。

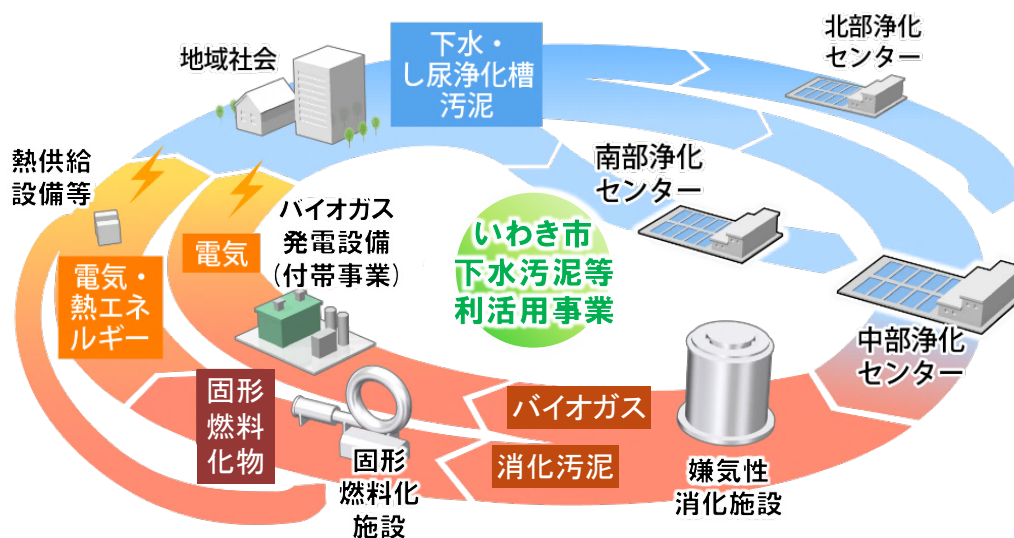


設備全景

いわき市下水汚泥等利活用事業の概要

本事業は、いわき市中部浄化センターおよび南部浄化センター内にし尿・浄化槽汚泥受入設備を整備するとともに中部浄化センター内に嫌気性消化施設および固形燃料化施設を整備し、事業期間中において要求水準書記載範囲の汚泥処理施設等の維持管理・運営（製造される固形燃料化物の買取、利用先の確保および運搬を含む）を実施するものであり、これらをPFI手法を活用し、事業で行うものである。

また、事業者の独立採算による付帯事業として、バイオガス発電事業を実施するものとし、事業者提案においてその他バイオマスの受け入れおよび未利用地利活用事業を行うものである。



(1) 主要施設

	嫌気性消化施設	固形燃料化施設	
		汚泥脱水機	乾燥設備
設備概要	鋼板製消化タンク	濃縮分離型ベルトプレス	円環式気流乾燥機
系列数	2槽	2台×2系列	2系列

(2) 本グループ

代表企業	月島 JFE アクアソリューション株式会社 [設計・建設][維持管理・運営]
構成企業	テスコ株式会社 [維持管理・運営] 日本水工設計株式会社 [維持管理・運営]
協力企業	大日本土木株式会社 [設計・建設] 常磐開発株式会社 [建設] 株式会社ジェイ・ケイ・リアルタイム [設計・建設] 株式会社常磐エンジニアリング [建設] 月島ジェイテクノメンテサービス株式会社 [維持管理・運営]
運営事業者	グリーンサイクルパワーいわき株式会社

(3) 事業期間	設計・建設	2020年12月～2025年1月
	維持管理・運営	2025年2月～2045年1月(20年間)

《本リリースに関するお問い合わせ先》

月島ホールディングス株式会社 広報室

TEL 03-5560-6503

《本事業に関するお問い合わせ先》

月島 JFE アクアソリューション株式会社 戦略企画部

TEL 03-5560-6540

以 上